

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT 先進国国債利回り

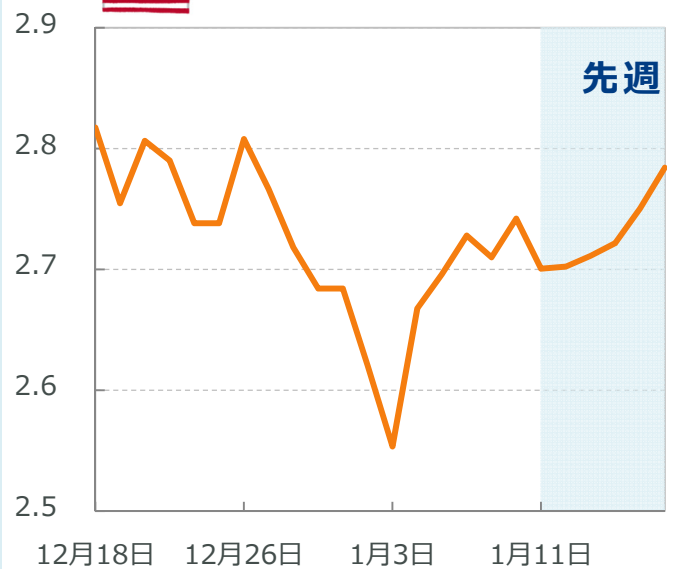
※データ期間は2018年12月18日から2019年1月18日（日次）

【2019年1月12日～2019年1月18日】

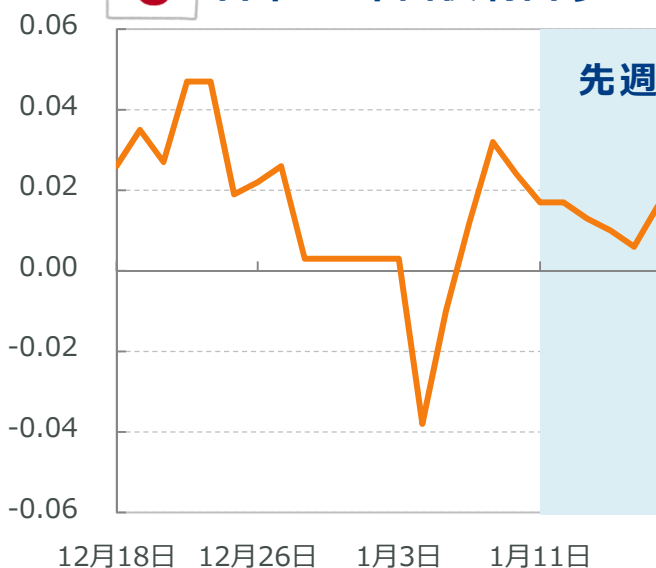
債券売り・株買いが進む

- ◆米中貿易摩擦の改善の兆しや市場予想を上回る米国経済指標の結果を受けて、資金が米国株にシフトしました。世界的な株高を背景に投資家のリスク許容度が強まり、欧州債も週後半にかけて売りが進みました。
- ◆日本国債は、週前半は財務省の流動性供給入札を控えて担保需要が強まるとの見方が広がり相場が上昇した後、週後半の株高・円安基調を背景に相場が反落し、利回りは週間で横ばいでした。

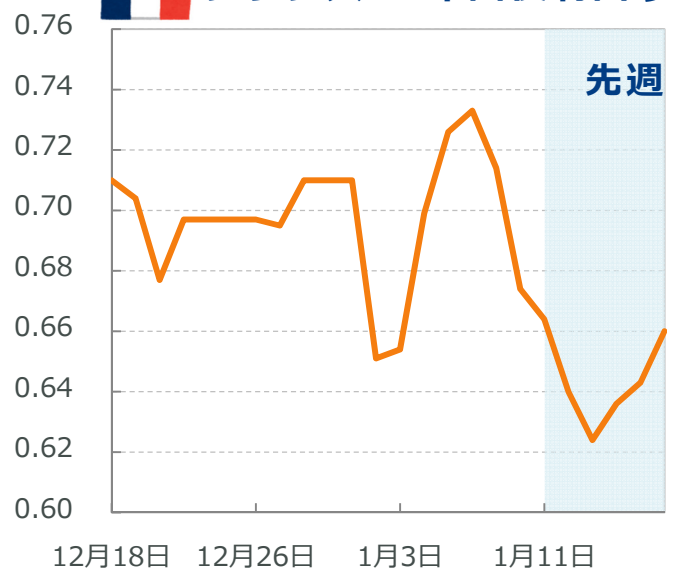
(%)  米国10年国債利回り



(%)  日本10年国債利回り



(%)  フランス10年国債利回り



出所：Bloomberg 1/2

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん

大和住銀投信投資顧問

Daikin SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

ちょこツとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

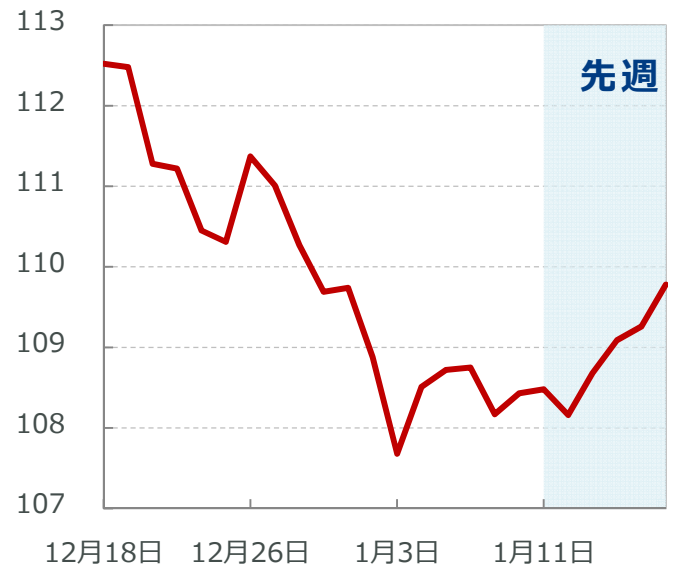
※データ期間は2018年12月18日から2019年1月18日（日次）

【2019年1月12日～2019年1月18日】

投資家心理が改善、円売り進む

- ◆米中関係の改善期待を背景に投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、円売りが進みました。米長期金利の上昇を背景とする日米金利差の拡大観測も米ドル買い・円売りにつながりました。
- ◆豪ドルは、原油高や中国政府が景気対策強化に言及したことなどが好材料となりました。
- ◆ユーロは、ユーロ圏のインフレ見直し引き下げ観測から売りが進んだものの、英議会でのEU離脱協定案否決や円安などを背景に下げ渋り、週間で横ばいでした。

(円)  **米ドル円**



(円)  **ユーロ円**



(円)  **豪ドル円**



出所：Bloomberg 2/2

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見直し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん

大和住銀投信投資顧問

Daikin SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会